

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成30年6月16日 (NO.109)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

## 「スマホ・ゲーム機使用」の取組

■基本的な生活習慣の確立は、学力・体力向上の原点です。

横山一男先生のご講演をもとに、「スマホ・ゲーム機使用のルール」に基づき、いっそう力強く取組を進めていきます。

### (I) 全町に 宣言

28年  
11月5日

1. スマホ・ゲーム機の使用時刻は、小学生は午後8時まで、中学生は午後9時までとします。
2. スマホ・ゲーム機は家族の目が届く居間で使用します。
3. 家族や友達と話をしている時は、スマホ・ゲーム機を使用しません。
4. 地域では、スマホ・ゲーム機の使用時間や場所への働きかけをするとともに、公共施設等での使用マナーに対する声かけを行います。
- 5. 読書・家庭学習・親子の会話などの時間を作ります。**

○平成30年6月16日 教育の日実践交流会(実践報告、講演会 講師 横山一男氏)

### (II) 今後の 取組

30年  
6月～

■**スマホ・ゲーム機使用のルールを守って確保できた時間をどのように有効に活用していくか、子どもたちと話し合い実践していきます。**

- 例 (家庭) 読書、家読、家庭学習、親子の対話、体力づくり、手伝い体験・野外活動、自由研究など主体的な取組、他
- (学校) 家庭学習を生かした授業の展開  
主体的、対話的で深い学びのある授業への改善、他
- (地域) 早寝・早起き・朝ごはん(あいさつ・ノーテレビデー)運動  
登下校の見回り活動、体験・集団活動、ラジオ体操  
少年団活動、部活動、総合型地域スポーツクラブ、他

○平成30年11月3日(土) 教育の日実践交流会(実践報告、吹奏楽演奏)

## 小中一貫CS取組の成果

■前号(一〇八号)で小中一貫CSの成果をお知らせしましたように、町民総ぐるみの取組が、次第に形となって表れてきています。

■この度、新たな成果が、学力の向上にも表れてきました。全国学力・学習状況調査等の結果、前年度より着実に向上してきました。

■子どもたちは、「分かる喜び、できる喜び」を味わったとき、一歩前進します。また、目的意識や自己肯定感を持って取り組み、地域・保護者から見守られ認められていると感じたとき、さらに大きく前進します。

小中一貫CSの取組は、子どもたちの成長にとって大きな支えとなっています。